

令和２年度 事業計画

事業概要

【期 間】

令和２年４月１日から令和３年３月３１日

【概 要】

当財団は公益法人として、公益法人制度の趣旨に鑑み、公益性の高い法人運営を行っていく。

普及啓発事業においては自然環境下での観察会開催や水族館の敷地内における田んぼ体験などの実施や教育委員会の協力のもと、学校団体等を対象としたワークシートの作成を行う。

調査研究・保護継承事業においては、国立研究開発法人水産研究・教育機構日本海区水産研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所とアカムツ（ノドグロ）の種苗生産技術等の開発に取り組み、さけ・ます等栽培対象資源対策事業を来年度も継続して実施する。

水生生物の展示及び飼育事業（水族館事業）では、通常飼育展示に加えて、令和２年は新潟市水族館マリニピア日本海の開館３０周年の記念すべき年である。

そこで、「チャレンジ～３０年の歩みとこれから～」をテーマに、３０年間積み重ねてきた数々のチャレンジ（展示・繁殖・研究・教育）を、さまざまな記念事業とともに振り返り、これから始まる新たなチャレンジへと繋げていく。

また、水族館の指定管理者としては、新潟市水族館を「新潟で一番愛される施設」というビジョンを達成するため、これまで以上により安心・安全な管理、サービスの提供、満足度向上に努める。

【事業名】

公益目的事業

- １ 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
- ２ 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

収益事業

- １ 施設管理に付帯する事業

公益目的事業

- １ 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

【事業目的】

新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。

【主な事業内容】

(1) 海洋・河川文化の普及啓発

区 分	名 称	プログラム等	内 容
体験学習	田んぼ体験	田植え	稲作体験（田植え・稲刈り・脱穀）と、収穫したわらを利用したわら細工体験を通して、新潟での稲作の文化、田んぼの環境や生息生物と人との関係を学ぶ機会とする。
		稲刈り	
		脱穀	
		わら細工	
	野外観察会	潟のいきもの観察会	潟に生息する水生生物の採集や観察を通し、新潟が誇る水辺環境である里潟への理解を深める。
		スナガニ野外観察会	海岸線が長い新潟の特徴である砂浜に生息するスナガニに注目した体験学習を通して、環境やその変化を考える機会とする。
各種施設との連携	出張展示	第四アカデミー 市場まつり 科学教室 など	館外へ出張して、水生生物の生体展示、活魚輸送車の展示、缶バッチの制作、写真を用いたクイズ大会・ワークショップなど楽しく学ぶ機会を与える。
	学校教育施設連携	校外学習の受入	水に棲む生物の飼育環境に関する情報を学校からの質問に合わせて、写真や資料を用いて講義する。

(2) 海洋・河川文化の調査研究

区分	名称	内容
研究発表	J A Z A（日本動物園水族館協会）関連	水族館技術者研究会、海獣技術者研究会など
	その他研究会・学会	日本動物園水族館教育研究会、さけ・ます等栽培対象資源対策事業など
各種会議	J A Z A 関連	設備会議、事務主任者会議、ワークショップ、魚類作業部会など
	その他会議	J A A（日本水族館協会）会議、J A A トレーニングセミナーなど

(3) 海洋・河川文化の保護保全（生物種の保全を含む）

区分	名称	内容・回数
生息域内保全	シナイモツゴ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
	ハクバサンショウウオ調査	糸魚川市の両生類の生息調査・2回
	ホトケドジョウ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
	コシノハゼ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・5回
連携調査	R O V（水中探査機）	寺泊・間瀬沖で深海生物の調査・2回
	親子魚探検（五泉・新発田）	生物多様性保全ネットワーク主催の自然観察会への講師派遣・2回
	水あぶり・堤観察会（関川）	タランペクラブの自然観察会への講師派遣・2回

2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

【主な事業内容】

(1) 水生生物に関する知識の普及振興

① 30周年記念事業

名称	プログラム	内容
「きいて・さわって・たべてみよう！」	深海魚	・日水研の研究員に深海魚についての講演を行ってもらう。 ・日本海の深海魚（生体など）に触れるコーナーを設置する。 ・深海魚(ゲンゲ、ガンコなど)の汁物を提供する。
	ラッコのたべもの	・北水研の服部薫研究員にラッコについての講演を行ってもらう。 ・ラッコの毛布標本に触れるコーナーを設置する。 ・ボイルしたホタテ、イカ、タラ（ラッコの餌として与えている物）をトッピングしたカレーライスを提供する。
	クラゲ	・加茂水族館の奥泉館長にクラゲについての講演を行ってもらう。 ・クラゲにビニール越しに触れるコーナーを設置する。 ・クラゲのアイスを提供する。
	アカムツ	・日水研の八木佑太研究員にアカムツについての講演を行ってもらう。 ・アカムツの鮮魚に触れるコーナーを設置する。 ・アカムツの焼き料理を提供する。
	クロヌタウナギ・ミズダコ	・足立区生物園解説員の西山真樹氏にクロヌタウナギについての講演を行ってもらう。 ・クロヌタウナギ、ミズダコ、マダコの生体に触れるコーナーを設置する。 ・クロヌタウナギとタコの唐揚げを提供する。
	サケ	・日水研の研究員にサケについての講演を行ってもらう。 ・生け簀に入れたサケの生体に触れるコーナーを設置する。 ・サケのフライを提供する。
	深海生物	・日水研の研究員に深海生物についての講演を行ってもらう。 ・日本海の深海生物（生体など）に触れるコーナーを設置する。 ・深海生物(ズワイガニ、ホッコクアカエビ)の汁物を提供する。
特別講演会	今までの水族館・これからの水族館	30年前の水族館と現在の水族館の社会的な役割の共通点や変化、そして今後求められていることなどを紹介する。

企画展示	マリンピア日本海 30 年のあゆみ「年表」	1990 年開館から現在までの出来事を年表で振り返る。
	マリンピア日本海 30 年のあゆみ「魚とイルカの運び方」	・イルカ輸送コンテナの実物を展示し、輸送装置の工夫や安全に運ぶための注意点などを写真や解説パネルで紹介する。 ・水族館職員が行う魚の輸送方法で、現在と昔とでの違いを新旧の活魚輸送車の模型などで紹介する。
	マリンピア日本海 30 年のあゆみ「ラッコとペンギンの 30 年」	マリンピア日本海での飼育の様子や、繁殖の取り組みを紹介する。
	マリンピア日本海 30 年のあゆみ「バイカルアザラシとイルカの誕生秘話」	・日本初のバイカルアザラシの繁殖を当時の資料を使って紹介する。 ・昨年 7 月 29 日に誕生したカマイルカの出産前後の様子やスタッフの対応、仔イルカ成長の記録などを紹介する。
	マリンピア日本海 30 年のあゆみ「ガラ・ルフア復活、アカムツ展示への挑戦」	・過去に人気を博したガラ・ルフアの展示を復活。手を入れることで楽しみながらガラ・ルフアの生態などを知ってもらう。 ・アカムツ生体展示までの 10 年間の取り組みを、生体、パネル、映像を用いて紹介する。
参加型イベント	日本海大水槽バックヤードツアー	大水槽上部、調餌室、活魚輸送車を見学し、大水槽の裏側、餌の種類や冷凍庫、活魚輸送車を用いた輸送方法や輸送生物を紹介する。
	ペンギンバックヤードツアー	ペンギンの内巢の見学、繁殖や卵について解説を行う。
	イルカバックヤードツアー	イルカの調餌室、冷凍庫、治療プール・ウェイトングプール、音響室などを見学しながらイルカの健康管理やショーの裏側を紹介する。
	館内探検スタンプラリー「水族館をふかく知ろう」	館内 14 ヶ所に 30 周年特別解説ブース、スタンプ台 9 ヶ所を設ける。館内をすべて回ることによって展示内容を深く知ってもらう。
	大水槽の給餌体験	大水槽の生物に与えている餌の解説をして、実際に給餌してもらう。
	イルカの健康チェック解説	夕方のボディチェック時に、体温測定や傷チェックの解説を行う。
	ドルフィンスプラッシュ	間近でイルカのジャンプを見てもらい、その際作り出された水しぶきを浴びてもらう。
	バイカルアザラシの給餌解説	餌を与えながら、生息域や他のアザラシとの違い、繁殖について解説を行う。
	ビーバーの餌採集と給餌体験	ビーバーについての解説を行い、餌のヤナギを館内で採集してもらい、実際に食べている様子を観察する。

② その他普及振興事業

名称	プログラム	内容
企画展示	第7回フォトコンテスト	マリンピア日本海で撮影した写真について、公募しコンテストを実施し、受賞作品を展示する。
	海を流れるモノ	様々な漂着物の実物、水族館の調査資料を中心に、生体や標本、パネルなどを用いて漂着物に関する情報を解説する。
いきもの教室	貝の標本作り	水族館地先の海岸にて貝の採集を行い、採集した貝を用いて種の同定方法と標本作成の手順を学び実践する。
	いきものの"これ"なんであるの？	魚、サメ、イルカなどの標本や実物を間近でみて、触ってなにに使っているかを説明する。
	みんなおやこ	ペンギンやイルカ、タツノオトシゴなど水族館で飼育している生物の出産（産卵抱卵）、育児などを映像や写真などを使用して親と仔それぞれの立場のクイズを出題しながら紹介する。
	サメの解剖	サメの外側と、解剖して内側の体のつくり、生体を観察する。
大人向け教室	写真教室	水槽撮影時に役立つ技術をレクチャーし、実際に館内で撮影を行う。撮影後は作品発表を行う。
	水族館講座	水族館の飼育システムや飼育生物についてのレクチャー、水族館の役割、生物多様性の話、参加者によるワークショップなどを行う。
特別ガイドツアー	ナイトツアー	通常観ることのできない閉館後の夜の水槽を観察しながら、昼と夜での生き物の活動の違いや外観の変化等をツアーガイド形式で解説し、水生生物の生態や自然環境への関心を深めてもらう。
参加型イベント	にいがたフィールドガイド	にいがたフィールドを解説しながら案内し、環境と希少生物の域外保全等を紹介する。最後に、その時期に観察できない生物の紹介と解説を補足するための冊子を配布する。
記念日イベント	ペンギンの日	4月25日は世界ペンギンの日とされている。25日はバックヤードツアー、26日は標本展示、繁殖の取り組みを紹介する。
	カワウソの日	ユーラシアカワウソの解説、アクアラボ内にて缶バッチづくり、毛皮の展示、カワウソ類のぬりえ等を実施する。

(2) 水生生物の収集、飼育、展示

区分	名称	内容・回数
飼育展示	館内での飼育展示	600種30,000点を超える飼育規模を維持
常設解説	イルカショー	イルカの認知、行動能力などを解説する・4～5回/日
	マリンサファリ給餌解説	トドに餌を与えながら、体のつくりや生態について解説を行う・2回/日

	ペンギン解説	ペンギンの分類や生態、生息地の環境について解説を行う・2回／日
	ラッコの給餌タイム	ラッコが餌を食べる様子を見てもらう・4回／日
	日本海大水槽解説	大水槽の展示生物の紹介や海洋環境に関する知識の普及、水族館のしくみを解説する・1～2回／日
	磯のいきもの解説	磯の生きものについて解説を行う・1回／日
	アクアラボ体験プログラム	C C D顕微鏡や大型モニターを用いて海の生物の実験的な解説を行う・1回／日
生物収集	相模湾乗船	キンメダイ、シキシマハナダイなど乗船採集・2回
	沼津乗船	クロホシイシモチなど乗船採集・1回
	佐渡乗船	エビカゴ漁乗船採集（深海生物）、定置網調査など・5回
	寺泊乗船	アカムツ漁乗船採集（深海生物）・5回
	岩船乗船	アカアマダイ漁乗船採集（深海生物）・1回
	出雲崎（アマモ採集）	アマモ場生物採集・10回
	能生乗船	ベニズワイ漁乗船採集（深海生物）・1回
	間瀬乗船	ハツメ・マダラ・アズマハナダイなど乗船採集・3回
	新潟県内淡水生物採集	カジカ大卵型・オイカワ・アブラハヤなど採集・5回
	山形（飛鳥）	加茂水族館との共同採集・1回
生物交換	ふくしま海洋科学館	活魚車による輸送・10回
	東海大学海洋科学博物館	活魚車による輸送・1回
	のとじま臨海公園水族館	活魚車による輸送・2回
	大洗水族館	活魚車による輸送・1回

収益事業

1 施設管理に付帯する事業

【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置を行う。

【主な事業内容】

区分	設置数・場所
レストラン	1 ヶ所・本館 2 階
軽食	2 ヶ所・屋外、屋上 ※季節・天候により営業中止
移動販売車	1 ヶ所・アプローチ棟手前 ※季節・天候により営業中止
売店	1 ヶ所・アプローチ棟
自動販売機	18 ヶ所・館内各所
ロッカー	1 ヶ所・アプローチ棟
記念メダル	2 ヶ所・本館 1 階
プリクラ	1 ヶ所・水辺の小動物